2月 ちびっこの森通信 vol.183

令和3年2月1日

☆★今月のテーマ★☆

・節分の由来や鬼の話などに興味をもち、豆まきを楽しむ
・季節の移りかわりで自然に触れ合い、変化に目を向けながら元気に遊ぶ

～今月の園内学習～

・足し算･･･２の段
・掛け算･･･２の段
・数字カード･･･1～20の数字
・食べ物カード･･･今月の旬な食べ物
・漢字カード･･･小学校1学年で習う漢字30
・魚へんの漢字･･･「うつぼ」「はも」
・木へんの漢字･･･「はぜのき」「まき」
・歴史カード･･･「空海」ほか
・ひらがなカード･･･「か行」
・国旗カード･･･エジプトほかアフリカの国
・地理カード･･･東京都ほか関東地方
・声に出して読みたい日本語･･･論語ほか
・英会話･･･動物、曜日、季節の種類
・絵画カード･･･「ゴッホの部屋」他

～行事予定～

・節分会･･･2日
・書道教室･･･4日・18日・25日
・英語教室･･･9日
・避難訓練･･･17日
・リトミック･･･2日〔年少〕
　16日〔年中・年長〕
・体操教室･･･19日〔年少〕
　24日〔年中・年長〕
・お誕生日会･･･22日
・身体測定･･･22日

♫今月の歌♫

◇まめまき
◆そうだったらいいのにな

～発表会について～

掲題につきましては、**昨年末来からの感染症拡大傾向を受け、市は各種イベント開催の延期ないしは中止に踏み切り、現状も継続中です。**現在、広島県が実施中の準緊急事態宣言体制は今月7日迄ですが、依然流動的な状況です。そんな中、今月の実施は時期尚早で（開催するに致しましても）来月実施を検討しておりますので皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

3歳児だより

感染症拡大という特別な年明けでしたが、みんなは手始めにお正月遊びを元気一杯、楽しんでいました。その後、今月の"節分会"に向け、可愛らしいお面作りに取組みました。分園からの進級した、お初組は「どんな鬼が来るの～？」と保育スタッフに不安と興味半々の気持ちで早速、確認していました。その後、「悪い鬼はやっつけてやる、怖くないもん！」と空元気か強がりなのか、威勢のいい言葉が飛び出していました。今まで制作を幾度となく積重ねてきた成果から今回の細かい手作業（折り紙を丸めて貼り付けた鬼の髪、角の丁寧で細かいマーカーデザイン）も難なくこなせていました。この一年の成長ぶりを改めて感じる次第です。どうぞ当日を楽しみにしていてくださいね!!また、先月は比較的、天候に恵まれたので戸外遊びにたくさん出掛けて遊びました。ですから、「今日は公園かなぁ…お散歩かなぁ…？」と朝からワクワクと愉しみが隠せないようで「公園では〇〇して遊ぼうね！」と早速、公園での作戦会議（？）をしている姿が見られ、和気藹々一杯なところは何よりと感じています。とは言え、お互いにまだこだわりが強い分 （関わり合いの中で）言葉より手が出ることもあるのが玉に瑕ですが、良好な交友関係が構築できるようによく見守り、解決していけるようにしていきたいと思います。

4歳児だより

今冬は何年ぶりかのホワイトウィンター到来で大変な寒さ以上に雪がこどもたちを楽しませてくれています。園前の駐車場をうっすら白く染める程度の降雪ながら「みんな～、雪降っとるよ～!!」と大歓声を上げ、窓際はいつの間にか黒山の人だかりになり「雪だるま作れるかなぁ？」や「明日の朝起きたら真っ白かなぁ～」と心はすでに見渡す限りの銀世界の中、雪だるまや雪合戦を楽しんでいるようでした。残念ながら、みんなの希望は叶えられず仕舞いでしたが…今年度もあと残り僅かとなり、来年度にはいよいよ年長者へと進級し、園の中心的役割を担うクラスになります。ですから、年長児としての意識や行動などの心の準備を進めています。その一つが、時間意識で「今は何の時間？」や「次は何をする？」などで状況に応じた行動や次の行動へのスムーズは移動など。ですから、自由遊びは思いっきり遊びことを楽しみ、朝の会などは静かにお話を聞くなどの"静"と"動"の切替えに今まで以上に意識して取組んでいます。日常生活の中でも、お友達同士でちょっとした約束事を交わしたり、ルール性のゲームを楽しむ姿にも垣間見える気がします。いよいよ今までの自分中心から集団生活の中での協調性が身につきつつあるようなので、今後もよく見守り、必要な時には適宜適切に手助けをし、こどもたちの活発な世界を後押ししていきたいと思います。

5歳児だより

長い年末年始休み明け後、みんなは開口一番に「おばぁちゃん家にいったよ～」、「お餅食べすぎちゃった～」、「お年玉たくさんもらったよ～」「いとこの〇〇ちゃんに会ったよ～」と楽しかったお正月のお土産話をお互いに持ち寄り、盛り上がっていました。そんな元気一杯、楽しそうな笑顔のみんなに再会でき、元気を貰い、何よりと感じています。まず、お正月遊びでは各人が絵柄などを創意工夫して作った"カルタ"遊びが大好評でした。そう、自分たちで作ったこともあり、それだけ愛着があり「これ、ぼくが作ったやつ～！」とカルタ取り前から盛り上がることもしばしばでした。読み書きに関心が高い月齢なのでカルタもそうですが、他にもお手紙をお友だちに心を込め、ちゃんとした文章でしたためたりすることも見受けられるようになり、こどもたちの成長ぶりに改めて感心させられる今日この頃となっえいます。今月の節分に向けた鬼の制作も活況でした。年長児ともなると"（鬼は)何色？"、"目や眉毛はどんな形？"や"角は何本？"などと自分で想定し、"こんな鬼が作りたい！"という構想を自身で練り、一人ひとりが思い描く鬼の制作に取組み、作り上げて満足そうでした。当日は、目の前の鬼もそうですが、心の中の鬼にも向き合い、退治できますように!

給食だより　～豆まきde（邪鬼＝病気）鬼退治～

今月3日は、二十四節気の一番目の立春で、季節は春へ舵を切っていきますね。その前日（2日）は節分となり、こうなるのは124年ぶりとのこと。また、いつもの（節分の日が）3日でなくなるのは37年ぶりという記録ずくめの節分を今年は迎えることになるそうです。

さて、節分には伝統行事の"豆まき"が行われますね。"豆"で鬼（邪気：病気などを引き起こす悪い気）を追い払い、1年の健康を願うというのはご存知の通りです。また、豆を（数え年）年齢の数だけ食べると、健康でいられるという言い伝えもあります。他には、恵方巻という関西の風習が今や全国的規模になったものもありますね。今年の恵方角は"南南東"、目を閉じ無言で願いを思い浮かべながらその方角に向かい食べると願いが叶うというもの。この時季は、季節の変わり目で体調を崩しやすい時期だけに、こうした無病息災を願う行事が行われるようになったのでしょう。ところで、豆まきの大豆は邪気を祓うだけでなく、実際"畑の肉"と呼ばれるくらい良質なたんぱく質を豊富に含んでいます。他にも、食物繊維、ビタミンB群、カルシウム、鉄を含む、非常に栄養価の高い食材です。さらに、体内で生成することのできない必須アミノ酸のリジンを含むことも見逃せません。こんなそんなで（邪気=）鬼退治用に大豆が選ばれたのにはそれなりに理由があったということになりますね。このリジンですが、主食の米には多くないことから、大豆そのものや加工食品の納豆や豆腐と一緒に食べると栄養バランスもよくなり、健康増進間違いなし、といったところです。このような健康食品の大豆と共に巷の感染症を吹き飛ばし元気に春を迎えれるようにしていきましょう!!